

ジビエ処理加工施設整備事業

～野生鳥獣を地域資源として有効活用～

宮古市企業版ふるさと納税寄附募集プロジェクト



(プロジェクトの概要)

当市では、野生鳥獣による農林業被害を防止するため、宮古市鳥獣被害対策実施隊による有害捕獲を実施しています。

捕獲した個体のほとんどが廃棄(埋設)されている状況であることから、捕獲個体を地域資源として有効活用するため、ジビエ処理加工施設の整備を進めています。

事業の推進により、交流人口の拡大、雇用の創出、ごみ処理施設の負担軽減、積極的な捕獲の促進などの効果が期待されます。

農林業被害を低減し、農林業の振興を図ります。



(事業の具体的な内容)

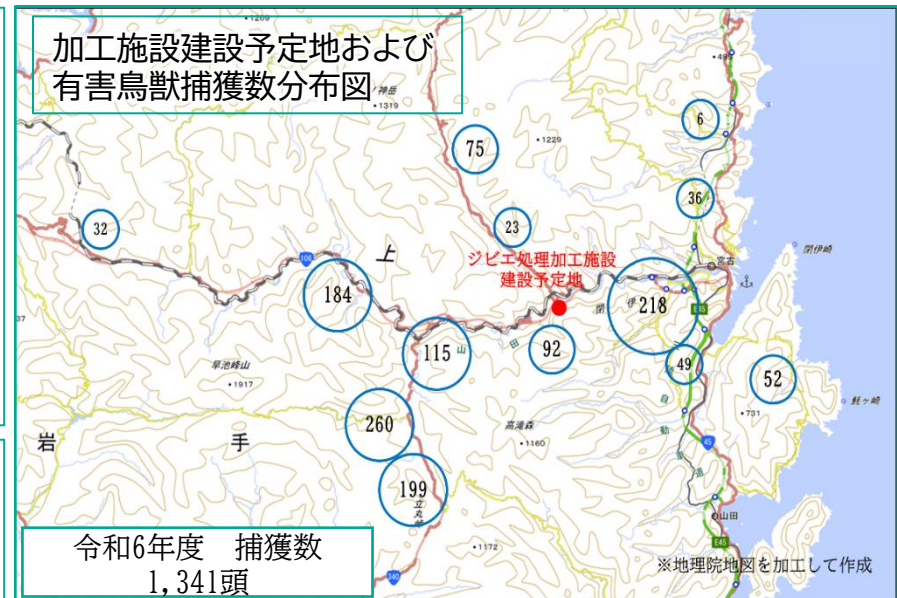
農作物被害防止のため捕獲したニホンジカなどの有害鳥獣について、年間1,500頭程度を目標に処理・加工を実施し、食肉やペットフードの原料など地域資源として有効活用します。

・ジビエ処理加工施設整備工事実施設計業務委託

→令和6年度に実施した基本設計の成果を基に、詳細な仕様や工事内容等を検討し、工事のための設計図書を作成します。

・ジビエ処理加工施設整備工事

→実施設計の成果を基に、工事を行います。



(事業費)※基本設計時点

3億4,732 万円

(寄附目標額)

3,400 万円

(企業の皆様へのメッセージ)

野生鳥獣による農林業被害は、全国的に深刻な問題となっており、今後も対策を強化し、継続していく必要があります。

そのような状況の中で、このジビエ処理加工施設整備は、これまで「マイナス」の存在であった有害鳥獣を「プラス」の存在に変えることができる取り組みとなります。

今後の農林業や地域の振興に寄与する重要な施策であることから、本事業にご賛同いただきますようお願いいたします。

